

経営管理総論 A	教 授 谷崎 敏昭
----------	-----------

1. 授業のねらい・概要

この講義では経営管理に関する基本的な理論と考え方について講義を行うと同時に現在、起こっている経営管理上の諸問題について論じ、経営管理の本質について論究する。現代企業の管理者は、急速に変化する世界経済の動向に応じて、経営資源を出来るだけ効率的に配置して、企業の存続をはかり、さらに新しく起こっている諸問題にどのように対処すればよいのか決断しなければならない。この問題の解決に失敗すると企業の存続はもちろん、これからの日本の社会そのものが大きな混乱に陥ってしまう。このような時代的背景をもとに、これからの日本企業の進むべき方向と、社会の中で企業が果たすべき役割について考える。

2. 授業の進め方

授業は講義方式で行い、必要に応じてレポートの提出を指示する。

3. 授業計画

1. 経営管理とは何か グローバル化	9. リーダーシップ論
2. 組織管理とマネジメント	10. マーケティング論
3. 株式会社と経営者の役割 組織と戦略	11. 情報化と企業経営
4. 日本の経営管理	12. 企業形態と経営管理
5. 品質管理とQC活動職場小集団活動	13. 知的財産権と経営管理
6. トヨタシステム	14. M&A戦略と経営管理
7. ものづくり・自動車産業の未来	15. 経営管理の諸問題
8. 科学的管理法・行動科学	

4. 到達目標

日本の企業は長期間にわたり永続する組織が多く、諸外国の近代企業とは、企業に対する認識が異なるようである。こうした日本の企業が近代になっても日本的な経営スタイルを捨てずに発展してきたのは驚異的なことである。しかしながら現代社会はグローバル化の展開によって日本の経営も変化を迫られており、どのような管理上の問題に、どのように対処しなければならないかを認識することが必要である

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

授業のための下調べをすることと同時に自分の問題意識を高め、何が知りたいのか、何が問題なのか、そして管理について、どうあるべきなのか考えることが重要である。

6. 成績評価の方法・基準

期末試験 70%とレポート 30%で評価する。期末試験は論述形式で出題するので、論文・レポートの書き方について学習しておくこと。

7. テキスト・参考文献

あとで指示する。

8. 受講上の留意事項

試験ではノートの持込を許可するので、しっかりとまとめておくこと。